

富山市教育委員会会議録
平成29年8月定例会

1 日 時 平成29年8月29日(火曜日)
午後 1時30分 開会
午後 2時20分 閉会

2 場 所 本庁7階 教育委員会室

3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 尾 畑 納 子
委 員 高 田 健

4 説明のために出席した者

事務局長	酒 井 敏 行
事務局次長(総務・社会教育担当)	大 場 一 成
事務局次長(学校教育担当)	斉 藤 保 志
教育総務課長	酒 井 秀 祐
統合校整備等推進室長	岸 重 臣
学校施設課長	水 高 清 志
学校教育課長	高 木 健 吉
学校保健課長	片 山 建
生涯学習課長	梅 沢 宗 仁
図書館長	清 水 孝 夫

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	本 郷 由 佳
教育総務課課長代理(管理係長)	桑 名 純 一
教育総務課主査	三 辺 さやか

6 傍聴人数 3人

7 付議案件

(1) 議案

議案第42号 平成29年9月市議会定例会に付議する平成29年度補正予算案
に対する教育委員会の意見について

議案第43号 富山市公民館条例の一部を改正する条例制定に関する教育委員
会の意見について

議案第44号 富山市立図書館条例の一部を改正する条例制定に関する教育委員
会の意見について

- 議案第45号 工事請負契約締結（倉垣小学校大規模改造（その2）主体工事）に関する教育委員会の意見について
- 議案第46号 工事請負契約締結（岩瀬中学校校舎改築（北館）及び大規模改修（中館）主体工事）に関する教育委員会の意見について
- 議案第47号 工事請負契約締結（岩瀬中学校校舎改築（南館）主体工事）に関する教育委員会の意見について
- 議案第48号 平成28年度教育委員会事務管理執行状況点検評価報告書の件

（2）報告事項

- 報告事項25 富山市教育委員会人事について
- 報告事項26 平成28年度富山市一般会計継続費精算報告書について
- 報告事項27 「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果概要について
- 報告事項28 平成29年度学校選択制に関するアンケート調査の集計結果について

8 会議の要旨

【開会】

- [教育長] 開会を宣言する。
本日は藤井委員が欠席であるが、委員の過半数の出席があるため、会議は成立している。

【前回会議録】

- [教育長] 8月教育委員会臨時会会議録について意見を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

- [教育長] 報告事項25については、人事に関する案件のため、非公開としたいが、よろしいか
[各委員] 異議なし
[教育長] 報告事項25については非公開とし、報告事項28の後に行うこととする。

【議案第42号】

- [教育長] 議案第42号について事務局から説明を求める。
[学校保健課長] (議案第42号について説明)

- [教育長] 採決を行う。議案第42号について異議があるか。
[各委員] 異議なし
[教育長] 異議なしと認める。よって、議案第42号について意見なしとする。

【議案第43号】

- [教育長] 議案第43号について事務局から説明を求める。
[生涯学習課長] (議案第43号について説明)
[教育長] 採決を行う。議案第43号について異議があるか。
[各委員] 異議なし
[教育長] 異議なしと認める。よって、議案第43号について意見なしとする。

【議案第44号】

- [教育長] 議案第44号について事務局から説明を求める。
[図書館長] (議案第44号について説明)
[尾畑委員] 施行期日とあるが、この日から利用できるということによろしいか。
[生涯学習課長] 施行期日から供用開始となる。
[教育長] 採決を行う。議案第44号について異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって、議案第44号について意見なしとする。

【議案第45号、46号、47号】

- [教育長] 議案第45号から議案第47号までについて一括して事務局から説明を求める。
[学校施設課長] (議案第45号から議案第47号までについて説明)
[教育長] 議案第45号から第47号までの3件について一括して採決を行う。
議案第45号から第47号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって、議案第45号から議案第47号までの3件については、意見なしとする。

【議案第48号】

- [教育長] 議案第48号について事務局から説明を求める。
[教育総務課長] (議案第48号について説明)
[尾畑委員] 評価員の方の意見は尊重すべきと思うが、達成状況をBからAに変更したものについて、例えば学力調査の平均点は前年からマイナスとなっている。これは、誤差範囲という考え方による意見であったのか。変わっていないのであれば、変更前の評価でもよいと思うが、前年と比較して下がっている。点数だけでは判断できないとは承知しているが、評価を変えるためには、それなりの根拠が必要ではないか。
[学校教育課長] 平均点については、平成27年度から比べて下がっているが、問題の

質によって平均点は前後すると考えられる。例えば中学校1年生であれば、280点ほどが目安と考えており、平成28年度は昨年度に引き続き目標を達成していることから、このような評価となったものである。

- [尾畑委員] 中学1年生はそれでよいと思うが、3年生は同じではないのでは。
- [学校教育課長] 中学3年生については、目標を120点と記載してはいるが、本調査は学力調査という意味のほかに、実力テストという側面もある。中学3年の12月という時期に行うテストということもあり、あまり平均点を高くしてしまうと、進路等に関しても適切な指導ができなくなることから、概ね110点を目標しているところであり、合計点で107点から109点であれば、実力テストとすれば適当なものであると考えるものである。
- [尾畑委員] それでは、平均点ではなく標準偏差を算出するなど、異なる数値で評価すべきではないか。平均点だけでは数値の上下だけの判断になってしまうので、別に参考資料などがあればいいと思う。
評価員の意見はそれとして、あまり現状を甘く捉えることは、今後にとってもよくないと考えるので、そのことは申し上げたい。
- [若林委員] 報告書の巻末に用語解説があるが、その用語の掲載ページを記載してはどうか。または、本文のなかで用語解説があることがわかるように記載するということでもよいが、何れかの方法をとられた方が、わかりやすくなるのではないか。
- [教育総務課長] わかりやすいように、工夫することとしたい。
- [教育長] 採決を行う。議案第48号について、ご指摘のあった点を訂正したもので、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって、議案第48号は訂正したもので可決した。

【報告事項26】

- [教育長] 報告事項26について、事務局から説明を求める。
- [学校施設課長外] (報告事項26について説明)

【報告事項27】

- [教育長] 報告事項27について、事務局から説明を求める。
- [学校教育課長] (報告事項27について説明)
- [尾畑委員] 中学生には課題があると感じる。その学年によってのものであるのか。
- [学校教育課長] 思考力、判断力、表現力といった点については課題があると考え。ただ、富山市の小学6年生、中学3年生何れも富山県の平均正答率を上回っている。特に中学3年生については、県との数値の差はさほどないが、県の数値が全国的にみても高い。これは、県の4割を占める富山市の子どもたちによるものとみてよいと思っている。
- [尾畑委員] 小学校までは順調であったのに中学における伸びが鈍化しているよ

うに見受けられる。点数のみで判断したくないが、この比較だけみると、何か欠けているか課題があるのではないか。小学校でさほど悪くないのであれば、中学3年間における環境の変化なのかわからないが、懸念される。別の部分で伸びているところがあるのであれば、それでよいと思うが、例えば多忙で現場を見る時間が欠けているなど、何か変化していることがあるのであれば、見直していく必要があるのではないか。これだけのデータで判断できないと思うが、小学校までと比べ中学校の3年間の教育について懸念される。

[若林委員]

差が縮まっているようである。

[尾畑委員]

富山市は、県内におけるトップランナーとしての役割もあると思うので、維持するためにはどうすべきかを考えるべきと思う。

[若林委員]

伸び悩みがあったのか、又は他が追いついてきたということなのか、分析が必要ではないか。

[斎藤事務局次長]

他が追いついてきたと思われる。

富山市は日々の授業が重要として、以前から授業改善を行うよう指導してきた。小学校においては、授業改善がかなり進んできたようであるが、中学校においては、卒業後のことを意識する先生が多く、高校入試を控えていることもあり、点数を取らせるために一斉授業が小学校より多い。中学校に対しては、小学校と同様に授業改善をすべきと指導しているところである。ただ、平成21年度から実施している、中学校区を指定した小中一貫による学力向上の取り組みの成果も徐々に見受けられる。去年の中学3年生は平成25年度の小学校時に学力が低いといわれた学年であるが、その子どもたちが、平成28年度の中学3年生時にはかなり改善されているので、点数を取らせるという視点では、富山市の先生方の技術は確かにあると考える。ただ、ご指摘の通り、授業改善がより進めば全国的に差が縮まっているなかでも、とびぬけていけるのではないかと考えている。中学校の先生がもっと小学校の先生の授業を学ぶということが必要ではないかと考えている。

[尾畑委員]

将来どう伸びていくか、という人間力の視点などはこの結果には表れてはこないのので、数値として表れた結果で意見させていただいた。どうぞまたよろしく願いしたい。

[教育長]

結果については、さらに分析をして各学校へ反映させていきたい。

【報告事項28】

[教育長]

報告事項28について、事務局から説明を求める。

[学校教育課長]

(報告事項28について説明)

[若林委員]

学校公開日は全校同一日か。複数行ったということはどういうことか。

[学校教育課長]

例えば堀川中学校と興南中学校というように、その期間に近隣の学校を見ることは可能である。

[尾畑委員]

公開日は一日だけか。

[斎藤事務局次長]

統一公開日は一日のみであるが、そのほか文化活動発表会や合唱コ

ンクールの日も公開日の一部となっているので、そのような日に行っている可能性もある。

- [若林委員] 参考までに、統一公開日の内容について説明をお願いしたい。
- [学校教育課長] 小学校6年生が主に授業参観を行う。そのほか部活動の公開も行っている。また全校生徒の合唱をみせたり、学年の取り組みを紹介するなど、学校によって様々な対応をしている。
- [教育長]
[尾畑委員] 生徒会が学校のPRを行うなど、各学校が自分の学校をPRしている。最近では情報を得る手段としてホームページなどの利用が増えてきている。先生方は情報更新など大変と思うがよろしくをお願いしたい。
- [学校教育課長] ホームページについては、閲覧数がわかるようになっており、各学校では、地域や学校の情報の公開に努めている。ブログ形式のホームページで、写真やそれに対するコメントを掲載するなど、力を入れている学校も多い。それにより、ホームページによる情報収集の割合も高くなっているのではないかと。

【報告事項25】※非公開案件

- [教育長] 非公開案件に移るため、傍聴人、マスコミの方はご退席願う。
- [教育長] 報告事項25について、事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項25について説明)

【閉会】

- [教育長] 閉会を宣言する。

以上、会議の要旨を記載し、その相違ないことを証するため署名する。

平成29年9月26日

教育長 宮口克志